

安佐医師会サーベイランス週報 第38週 令和3年 9月 20日(月)～令和3年 9月 26日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	26定点		
対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名		389,882名		
定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名				
1 RSウイルス感染症	3									3	↓	<p>【第38週安佐圏域での各種感染症の動向】 9/20～9/26</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>RSウイルス感染症: 14→3件・・・ほぼ終息</li> <li>咽頭結膜熱: 0→0件</li> <li>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 1→3件</li> <li>感染性胃腸炎: 42→36件</li> <li>手足口病: 4→10件</li> <li>ヘルパンギーナ: 8→18件・・・祇園10件</li> <li>流行性角結膜炎: 3→1件</li> </ol> <p>&lt;今夏、3大夏風邪感染症の推移&gt; 9/29</p> <p>・コクサッキー感染症のヘルパンギーナ、手足口病が増加！</p> <p>&lt;広島市新型コロナウイルス新規患者数&gt; 9/29</p> <p>・1週間当たりやや増加、微妙に下げ止まりの傾向あり！</p> <p>【政府分科会のメンバーの 館田一博教授より2つのポイント】 ・・・9/24</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレイクスルー感染を起こすとは言え、ワクチンの効果が無くなっているわけではなく、重症化や死亡のリスクは確実に下がっている。特段の理由がなければ、なるべく接種をするのが望ましい。</li> <li>・アメリカやイギリスなどワクチン接種が先行していた国では接種率が一定の水準に達して感染対策がおろそかになってしまい、大きなクラスターが発生したと報告されている。そういった事例を見てワクチンだけに頼るのではなく打った人も打っていない人もしばらくの間は感染対策、リスクを下げる行動を維持していくことが大事になる。</li> </ul>
2 咽頭結膜熱												
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		2							3	↑	
4 感染性胃腸炎	8	3			9	15		1		36	↓	
5 水痘												
6 手足口病	9					1				10	↑	
7 伝染性紅斑												
8 突発性発しん												
9 百日せき												
10 ヘルパンギーナ	10	4	3			1				18	↑	
11 流行性耳下腺炎	1					1				2	↑	
12-Aインフルエンザ(A型)												
12-Bインフルエンザ(B型)												
13 急性出血性結膜炎												
14 流行性角結膜炎		1								1	↓	
15 麻疹												
16 風疹												
17 MCLS(川崎病)												
18 髄膜炎(細菌性)												
19 髄膜炎(無菌性)												
20 マイコプラズマ肺炎												
21 クラミジア肺炎												
22 その他												
合計	32	8	5		10	17		1		73		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言「**イトコール**」安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります！

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風疹、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り